

虹の科学や文化に触れる表現活動の研究

山西 多加（小田原短期大学 通信教育サポートセンター 大阪）

1.1 はじめに

現行の幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領（以降教育要領等）には、保幼小接続を見据えて、幼児期において育みたい資質・能力が育まれている具体的な姿として、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」（以降「10の姿」）が示される。従って、幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園（以降幼児教育現場）の活動には、これらを目指した援助が求められる。本研究は、筆者が前教育要領等から実施する「虹」をテーマにした表現活動を「10の姿」の観点から見直し、どのような子どもの育ちの可能性があるのか、その援助とはどのようなものかを探求することを目的とする。

1.2 方法

研究対象は、「虹」をテーマにした2021年から2024年度実施のA幼稚園での描画表現活動、2024年度実施のBこども園での立体表現活動、2022年から2024年度実施のC保育者養成校授業である。幼稚園、こども園における活動では、目指す「10の姿」とその援助を、保育者養成校では授業内容を記述し、考察を行う。

2.1 幼児教育での実践

2.1.1 「思考力の芽生え」を育む援助及び考察

虹が自然科学現象であることを踏まえると「物の性質や仕組み等を感じ取ったり気付いたりする」と記載がある「思考力の芽生え」の育みができる。

表1は、幼稚園、こども園での「虹」をテーマにした表現活動のカリキュラムである。図1は、使用教材の一部画像である。『くろねこちゃんのにじりょう』は「猫による虹旅行中の見聞」を記した保育者作成の教材である。図2は『くろねこちゃんのにじりょう』の読み聞かせ後の立体表現（保育者による見本）と提示資料の一部、展示会場掲示である。

以下、援助を考察する。『にじいろのしまうま』は「にじいろのしまうまが、干ばつの折、自分の体の色で自然を回復させる。その結果、真っ白の馬に変わる」という内容である。自然界の色彩が虹色の反射であることは科学的事象であることが伝わる。飢えと渇きを救うしまうまに、仲間が感謝する物語は、子どもは共感しやすいだろう。また児童文学故「しまうまは今、何しているのかな?」「もし、自分のところにしまうまがきたら、どうしますか?」等の言葉がけのくふうにより、イメージの広がり期待できる。

手作りの保育教材は、児童文学足り得ないが、虹のメカニズムや伝承を、日常向かい合う子どもがわかる言葉を想定して伝えることができる。図1左上は、仕掛けを一つ一つ開けながら、虹の形態を伝える。同上中は、自然界の緑色に見える物体を伝える。同右上は、虹にまつわる伝承を伝える。

図2左上「虹旅行にいく乗り物」は、誰が誰と虹旅行に行くのか、動力は何か、空中で何に出会うのかなど、虹周辺の空にいる様子をイメージすることを誘う。展示会場天井から、太陽と不織布製の雲とタフロープ製の光ともに、同上中「雲の中の雨粒」を吊るす。これは、虹が発生する条件を伝える（図1左下）。同右下の展示紹介文（図1右下）は、表現活動が目指す子どもの育ちを、保護者や保育者に伝える。これは岡本（2005）が述べている「その表現的環境の観点から、親の側も保育者の側も、自分たちの保育所や幼稚園の今のあり方を検討してみることが求められます¹⁾」の実践である。

	A幼稚園	Bこども園
4歳児	お話の絵『にじいろのしまうま』	同左
5歳児	お話の絵『くろねこちゃんのにじりょう』	お話(同左)をもとに立体表現「にじりょうにいくのりもの」

表1 幼稚園・こども園での「虹」をテーマにした表現活動カリキュラム



図1 「虹をテーマにした表現活動の導入時使用教材」

左上 保育者作成『くろねこちゃんのにじりょう』「様々な虹」中 同「虹の城、緑のドアの部屋；虹の歌」
右上「虹の橋」 下 こやま峰子作やなせたかし絵（1996）『にじいろのしまうま』金の星社



図2 「虹をテーマにした立体表現活動」

左上「虹旅行にいく乗り物」中「雲の中の雨粒」右上「鞞画像資料」 左下「展示会場図」右下「展示会場掲示」

2.1.2 「自然との関わり」を支える援助及び考察

虹を見る体験は「自然に出会い、感動する体験を通じて、自然の大きさや不思議さを感じ、畏敬の念をもつ」という記載に関連することから、「自然との関わり」の育みが期待できる。図3は、活動の導入時に提示する画像である。

以下、援助を考察する。空の虹は、いつでもどこでも見ることはできないが、画像による資料で提示できる。丸い虹や夜にも見える虹などが、子どもにとって新鮮な情報であれば、虹が見える現象の興味となるかもしれない。

画像は、代理経験である。神谷（1998）は、代理経験について以下のように述べる。

人間は世界のあらゆることを経験しつくすことはできないので、代理経験は知的発達にとってある意味では不可欠であるといえます。しかし、代理経験は直接経験と同じものではありません。ひとつの花を見ると、人は色、形、大きさ、香り、感触、ときには味と五感のすべてを動員して感覚します。その花が過去の経験を呼び起こすのであれば、その過去の情景や感情すら体験するのです。こうした直接経験を土台にした知識は代理経験のみの知識とは違いが出てきます。ⁱⁱ

代理経験が、直接経験を完全に補うものではないことを念頭に置く必要がある。現実の虹を、子どもたちが見つけようとする意欲の育みを狙いたい。



図3 画像資料 左上「主虹、副虹ⁱⁱⁱ」右上「彩雲^{iv}」左下「太陽の光環^v」右下「月の光環^{vi}」

2.1.3 子どもの表現の考察

本実践前後の子どもの表現の変化は、多様な表現が現れた点である。活動導入時に、保育者は子どもの目線で、どう表すか困る子どもの援助として、自らも表現する。その模倣が見られる表現の他に、教材中の「くろねこ」「しまうま」が暮らす様子、様々な虹、ペットについての想起、虹のくのにの様子などの表現が現れた。教材の様々な切り口の受け止め方であろう。また、活動終了後に虹を見た子どもが、保育者にその状況を報告する姿が在った。興味が持続したことが窺える。

2.2 「道徳性の芽生え」を育む援助及び考察

虹の色数は国によって違うことや、色覚に個性があることを踏まえると「相手の立場に立って行動する」と記載がある「道徳性の芽生え」が育める。図4は、保育者養成校授業で使用したPPTである。

以下指導を考察する。保育の場では、多国籍保育やインクルーシブ教育が行われている。国による虹の色の数について知る機会は、保育者のみならず、子ども同士が多様性を理解するきっかけとなるかもしれない。視覚の個性について知ることと同様である。共に少数の見方考え方等を尊重する姿勢を育むことを期待したい。

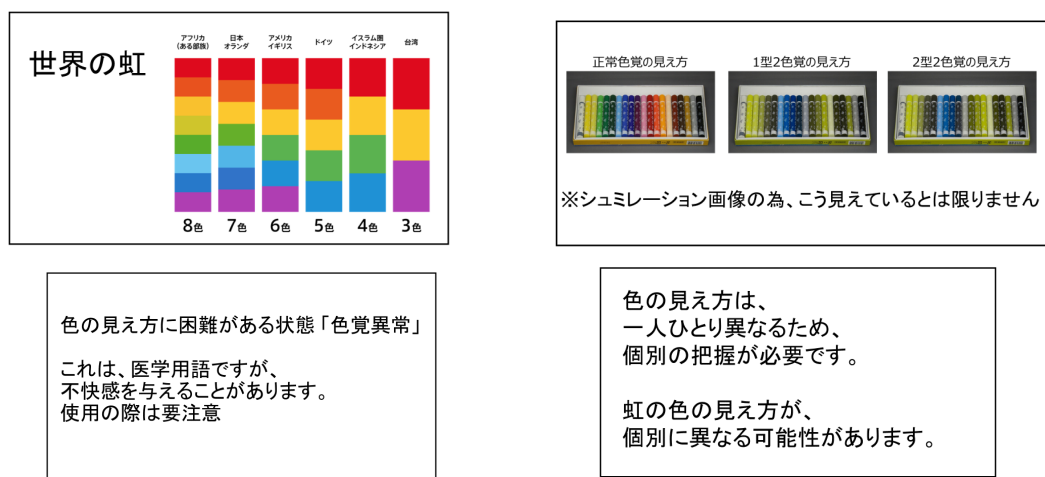


図 4 C 保育者養成校授業使用 PPTⁱⁱ

3. まとめ

本研究は「虹をテーマにした表現活動」が「10 の姿」の「思考力の芽生え」「自然との関わり」「道徳性の芽生え」を育む可能性に着目し、以下 4 点の援助を見出した。1、児童文学の中で子どもが共感し、イメージが深まる言葉がけを工夫する。2、日常向かい合う子どもがわかる言葉で、虹のメカニズムや伝承を伝える。3、直接の体験が難しい場合は画像や動画を活用する。4、虹の色の見え方の多様性から、様々な見方考え方等を尊重する姿勢を導く。

描画や立体の表現は「生活の中で美しいものや心動かす出来事に触れ、イメージを豊かにもちながら、楽しく表現する」「豊かな感性と表現」を育む活動である。この項目に留まらず「10 の姿」を見通せば、新たにその活動で目指せる項目が見出され、従来の援助を改善する可能性がある。

本研究の限界と今後の課題を述べる。保育教材、画像、動画による科学的知識や伝承の伝達は、直接の体験として虹を見る「心動かす出来事」を完全に補わない。夏季のプール遊び時に「シャワーの虹」を確認すれば、僅かでも直接の体験に繋がられるだろう。また、その延長として「滝の虹」の音声付きの動画を提示することもできる。現実の虹を、子どもたちが見つけようとする意欲を期待して代理経験を、自然への畏敬の念に繋げたい。

参考文献

- ・武田康夫 (2018) 『虹の図鑑 - しくみ、種類、観察方法 - 』 緑書房
- ・斗頭正一監修 (2020) 『ニッポンじゃアリエナイ世界の国』 SB クリエイティブ株式会社 pp. 160 - 161
- ・文部科学省 (2019) 『幼稚園教育要領解説<平成 30 年 3 月>』 フレーベル館 p. 67

引用文献・引用元

- i 岡本夏木 (2005) 『幼児期』 岩波書店 p. 157
- ii 神谷英司 (1998) 『幼児のものの見方・感じ方 - 自然と遊ぶ』 法政出版株式会社 p.8
- iii <https://zukan.com/rainbow/internal11361> (2025. 1. 7 最終閲覧)
- iv https://tenki.jp/suppl/satoko_o/2024/05/01/32440.html (2025. 1. 7 最終閲覧)
- v <https://weathernews.jp/s/topics/201711/140095/> (2025. 1. 7 最終閲覧)
- vi <https://www.umibe-nature.com/2021/06/03/173044/.html> (2025. 1. 7 最終閲覧)
- vii 左上 <https://schrodinger.blue/message/colors-of-rainbow/> (2025. 1. 7 最終閲覧)
- 右上 <http://shikikaku.jp/miekata.html> (2025. 1. 7 最終閲覧)
- 左下右下 国立特別支援教育総合研究所、2019 年前期 免許法認定講習通信講座-視覚障害領域-視覚障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目 第 10 回 教材 PP. 43 - 45